③立命館大学

特徴

問題は全学統一・学部個別を含めて1年間で６パターン。

★全学部・学部個別ともに記述問題が出題される。

→1度出題された問題は、次日程以降、基本的に出題されない。

問題傾向

★約80%記述式の出題。問題内容に難解なものは少ないが、教科書レベルの基本的な内容は記述できるようにしておくこと。

対策内容

★直前対策

・ニガテ範囲の総復習（資料集等で、年号、地図を使いながら。）

・1問1答（書きながら）

・まだ解答していない立命館大の過去問

・標準問題精講（ニガテ範囲だけ）

・過去の出題で、良く出題されている範囲。

・過去問で間違えた問題、他学部の問題

最後に

立命館大学の問題難易度は高くない。しかし憲法の条文や、その内容を覚えていなければ、苦戦を強いられるものもある。このような問題をしっかりと得点源にして戦うことが重要。特に、立命館大学の場合は、漢字・カタカナの文字数指定がある場合が多い。リード文の内容と文字数のヒントから考えて、解答していこう。最近の問題では、リード文にかなりのヒントがあることが多い。「プログラム規定説」や「統治行為論」など頻出の語彙に注目しておこう。

特に、記述問題の多い立命館大学では、漢字間違い等、見直しで防げるミスに注意。